

高等学校図書館における電子書籍貸出サービスの現状と課題

The Current Conditions and Issues Concerning The E-book Lending Service at High School Libraries in Japan

学籍番号：201821612

氏名：沖田 綾子

Ayako OKITA

近年、学校図書館における電子書籍貸出サービスの導入が広がりを見せている。現在の電子書籍貸出サービスは、学校図書館の特性に対応していないことから、出版社や事業者と電子書籍の提供について考え方や現状について理解を深めることは重要であると考え。

そこで、本研究は、学校図書館向けの電子書籍の提供を実現するための課題を考察するために実施した、事例分析とインタビュー調査の結果から、学校図書館での電子書籍貸出サービスにおける電子書籍の利用の現状と問題点を明らかにすることを目的としている。

事例分析では、電子書籍貸出サービスの導入校をケーススタディとして、対象校から収集したデータを多角的に分析し、電子書籍の利用の実態を把握した。インタビュー調査では、複数の導入校を対象に、現在、提供されている電子書籍のジャンル、価格、提供時期についての認識、要望、問題点を把握し、事例分析の結果と照らし合わせて電子書籍の利用における現状と問題点を考察した。

調査結果から、現在、電子書籍は、主に読書や授業学習で利用されており、今後もこのような利用での期待が高まっている。しかし、タイトル数の不足、高価格、マルチユーザー型非対応、ライセンス有効期限の問題があり、とくに学校図書館での需要が高い「小説」、「語学・洋書」、「学術・専門書」、「事典・図鑑」、「辞書」、「進路・職業」、「学習・問題集」のジャンルでは、問題が顕著にあらわれていることが明らかになった。また、電子書籍の価格では、高価格であること以外に、価格設定の基準が不明確という問題点が明らかになった。電子書籍の提供時期では、時間が経過したものが多く提供されているが、ジャンルにより許容できる適切な時期に電子書籍が提供されていないことによって、電子書籍の利用が意図的にできないという問題点が明らかになった。

研究指導教員：宇陀 則彦

副研究指導教員：池内 淳